

Q 被害弁償で高額請求 裁判までは

スポーツクラブの経営者です。クラブ内の設備不良で会員にけがを負わせてしまい、慰謝料300万円を請求されました。被害弁償をしたいのですが、金額としてあまりにも高額な気がします。裁判まではしたくない一方、会員と話し合うだけではらちが明かない気もします。どうしたらいいでしょうか。

**法律
相談室**

トラブルを抱えた際、今後の付き合いや立場などを考慮して、できる限り穏便に解決したいと希望する人は多いと思います。しかし、当事者間での個人的なやり取りでは、話し合いがまとまりないことがあります。このような場合に、県弁

弁護士が仲介合意模索

護士会の「紛争解決支援センター」が行うADR（裁判外紛争解決手続き）という制度があります。「あつせん人」と呼ばれる弁護士が公正中立な立場で携わり、当事者双方の話し合いを仲介することで解決を目指します。

ADRは、次の点で裁判

m（ズーム）」などを利用してリモートで行うことも可能です。

一方で解決を図るためにm（ズーム）」などを利用してリモートで行うことも可能です。

ければADRでの解決はできないため、丁寧に話し合いの機会を設けていくことになります。

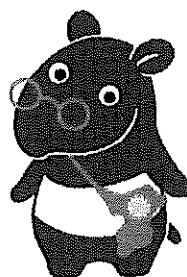
どのような紛争にADRを利用できるか、申請はどうすればよいかななど、まずは県弁護士会に気軽に問い合わせてください。（回答

相談の件では、経営者は

＝佐々木喬弘弁護士

手続きと異なります。まず、非公開であるため、第三者にトラブルの存在を知られることはありません。話し合いの日時や場所、方法についても、事案に応じて柔軟に実施できます。必要があれば平日夜間や土日、ウェブ会議システム「Zoo

自の過失を認めています。主な争点は慰謝料の金額となるため、弁護士が公正中立な立場で双方から話を聞き、類似事例を調べ、妥当と思われる金額を示すことで合意を模索するといふ流れが予想されます。双方の合意や納得が得られない



県弁護士会マスコットキャラクター「ちーべん」

県弁護士会所属の弁護士が、皆さまの法律的なお悩み、ご相談についてアドバイスするコーナーです。随時掲載します。弁護士に直接相談したい場合は、県弁護士会（千葉043・227・8954、松戸047・366・6611、京葉047・437・3634）に電話で予約してください。県内14か所の法律相談センターで、相談することができます。一般法律相談の相談料は、30分2000円（一部を除く）です。